

「さらば、放射能！」 ニュース 《NO. 87》 2014/02/11

発行：安全な生活を願う市民の集い (E-mail : chori_msm@ybb.ne.jp)

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2014/02/10 集計 + オンライン署名増加分 = **8,397,423** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。脱原発の旗を高く掲げて粘り強く呼びかけましょう。

2.22 新宿デモ：「子ども達を被ばくから守ろう！」(仮称)

2月22日(土) 13:00~集合・デモ前アピール/14:00 デモ出発(予定) / **集合場所：新宿駅東口・アルタ前** / 問い合わせ：ふくしま集団疎開裁判の会・2.22 新宿デモ連絡先：090-8494-3856 (岡田) <HP・<http://fukusima-sokai.blogspot.jp/2014/02/gaari.html>> 手作りグッズご持参歓迎！

【連続シンポジウム・第5回】

『3.11 から 3 年——被害者たちの暮らしは、福島第一原発の現実とは——』

3月1日(土) 18:00~20:30 / 会場：千駄ヶ谷区民会館 (渋谷区神宮前 1-1-10 Tel・03-3402-7854) (JR 原宿駅から徒歩 10 分、千代田線・明治神宮前駅から徒歩 8 分) / 定員：300 人 (予約不要) / 資料代：500 円 / 【主催・問い合わせ】 福島原発事故緊急会議 (東京都文京区関口 1-44-3 信生堂ビル 2F ピープルズ・プラン研究所気付) / Tel:090-1705-1297 (国富)・090-6146-8042 (かいどう) / e-mail : office@2011shinsai.info / Fax: 03-6424-5749 / <http://2011shinsai.info>

【主催者からのメッセージ】1月28日、東京電力福島原発事故の被災者救済を求めて、「原発事故子ども・被災者支援法」の具体的な施策の早期実現を求める署名約 12 万人分を国会議員に手渡しました。昨年 11 月に提出した署名と合わせて約 20 万筆になります。

この法律は 2012 年 6 月、超党派の議員立法で提案され、衆参両院において全会一致で成立したものです。被災者のいのちと暮らしを守り支える法として画期的であり、被災者たちの胸に希望を灯したものでもありました。しかし、昨年秋に閣議決定された「基本計画」では、私たちが粘り強く訴えてきたことは殆んど何も反映されず、法の理念は完全に失われてしまいました。

間もなく原発事故から丸 3 年になります。今、改めて被災者たちの暮らしの実情を知り、「原発事故子ども・被災者支援法」を自らの問題として捉え直し、私たちにできることは何かを考えたいと思います。

【内容】◎「どうなってるの?『原発事故子ども・被災者支援法』」=福島の子もたちを守る法律家ネットワーク (SAFLAN) から ◎「避難者たちが抱える困難——政府の帰還促進政策が生み出しているもの」=満田夏花さん (国際環境 NGO FoE Japan) ◎「危機が迫る——福島第一原発汚染水問題」=山崎久隆さん (劣化ウラン研究会代表、たんぼぼ舎) 【みなさん、ぜひともご参加ください！】

【公開シンポジウム】「安全な原子力であることの要件—福島原子力事故の教訓—」

3月5日(水) 13:30~17:40 / 会場：日本学術会議講堂 (東京都港区六本木 7-22-34) / 入場無料：事前申し込み不要 (定員 300 名) / 主催：日本学術会議総合工学委員会原子力事故対応分科会 / 問い合わせ：03-3403-1056 (沖山) / 【開催趣旨】 東京電力福島第一原子力発電所事故は、総合技術としての原子力技術に重大な欠落があったことを顕在化させました。福島原子力事故で得られた教訓を生かすために、「安全な原子力であることの要件」について判り易く解説し議論します。是非、ご参加を！

【3.9 NO NUKES DAY】原発ゼロ☆大統一行動 ~福島を忘れるな!再稼働を許すな!~

3月9日(日) 13:00~ / 会場：日比谷野外音楽堂・国会議事堂周辺 / 主催：さようなら原発 1000 万人アクション (Tel : 03-5289-8224) ・原発をなくす全国連絡 (Tel : 03-5842-5611) 他

3月15日(土) 13:00~「フクシマを忘れない!さようなら原発 3.15 脱原発集会」(東京・日比谷野外音楽堂) / 主催：『さようなら原発 1000 万人アクション』実行委員会 (Tel : 03-5289-8224)

HOWS 講座：「崖っぷちの安全論」で原発輸出・再稼働一事故後も「安全より利益」が貫かれるしくみ—
講師・田中三彦さん (科学ジャーナリスト、元国会事故調委員)

3月22日(土) 13:00~ / 会場：本郷文化フォーラム (地下鉄丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」駅下車徒歩 5 分) / 参加費：1,500 円 (学生 1,000 円) / 主催 & 問い合わせ：HOWS 事務局 (Tel : 03-5804-1656)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月 1・11・21 日にこのニュースをお届けします。Fax にて集会情報のご投稿をお願いします。